

会議録

会議の名称	令和5年度 第4回加東市障害者支援地域協議会
開催日時	令和6年2月29日(木) 13時30分～
開催場所	加東市役所 302会議室
<p>【出席及び欠席委員の氏名】</p> <p>〈出席委員〉11人  石倉健二、森下智行、楯本俊也、神納伸午、竹内司、石原敬三、大西ひとみ、百田雅樹、小林茂、丸山正人、安田末子</p> <p>〈欠席委員〉1人  渡邊尚樹</p>	
<p>【出席した事務局職員の氏名及びその職名】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉部 部長 近澤 孝則</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 課長 北島 崇裕</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 副課長 篠田 玲子</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 主査 伊藤 充紀</li> <li>・健康福祉部社会福祉課 主事 上野 大知</li> <li>・加東市障害者相談支援センター 所長 原 尚浩</li> </ul>	
<p>【議題、会議結果、会議の経過及び資料名】</p> <p>1 議事</p> <p>(1) 加東市障害者基本計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画について</p> <p>(2) 加東市障害者基本計画の取組内容の評価について</p> <p>(3) 加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗状況について</p> <p>2 会議結果</p> <p>(1) 加東市障害者基本計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画について審議しました。</p> <p>(2) 加東市障害者基本計画の取組内容の評価について審議しました。</p> <p>(3) 加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗状況について審議しました。</p> <p>3 会議の経過</p> <p>別紙「令和5年度 加東市障害者支援地域協議会(第4回)会議経過」のとおり</p> <p>4 会議資料名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加東市障害者基本計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画(案)</li> <li>・令和5年度障害者基本計画に係る進捗状況の評価シート</li> <li>・加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画に係る進捗状況</li> <li>・令和6年度の新規・拡充事業について</li> </ul>	

別紙「令和5年度 加東市障害者支援地域協議会（第3回）会議経過」

発言者	会議の経過/発言内容
委員長	<p>1 開会 2 あいさつ 3 議事</p> <p>[議事内容]</p> <p>それでは、議題（1）加東市障害者基本計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（事務局より加東市障害者基本計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画について説明）</p>
委員長	<p>何か質問や意見はありますか。</p>
委員	<p>資料編の一番下ですが、用語説明となっていますが、用語解説です。 それと、音声で読み上げるということですが、表の場合、音声はどうなりますか。それから、概要版も音声で読み上げるのですか。</p>
事務局	<p>表の中は全部読み上げます。</p>
委員長	<p>Uni-Voiceに関する説明はどこかに書きますか。</p>
事務局	<p>表紙に説明を入れます。</p>
委員	<p>Uni-Voiceの容量自体は大丈夫ですか。</p>
事務局	<p>ページごとに読み上げる形なので、容量は大丈夫です。</p>
委員	<p>音声のみですか。</p>
事務局	<p>音声のみです。</p>
委員長	<p>ページごとの読み上げとなると、データ量はあまりなく、ダウンロードをそもそもしないので大丈夫です。</p>
委員	<p>16ページについて、一般就労につながった件数の下に合計があれば見やすいのではないかと。合計人数が必要ではないのか。</p>
委員長	<p>あってもいいのかもしれないが、この表の趣旨としては、それぞれの窓口での年間推移、年度ごとの推移がどうなるかを見ています。</p>

委員	<p>障害者の状況とか、いろんなアンケートを各機関への調査を基にいろいろしていますが、前の計画と比べて何が変わっているのか。就職できた人数が非常に少ないので、そういうことに関しての対策はないのか。アンケートは取っていますが、それに対する対策が少ないと思う。</p>
委員長	<p>就労の機会の問題というのはとても重要なことなので、この計画の61ページから施策の展開ということで、それぞれの担当課に関連して書いてもらっています。</p> <p>実際に就労が増えないのは、まさにそのとおりではあると思います。なので、ここに施策として計画を示しています。</p>
委員	<p>4ページについて、AとCの回答率が50%となっているが、これで今後計画を立てていく中でこの50%を参考資料にしていくということか。半分の回答率で、それを指針にしていくのは問題があるのではないか。</p> <p>事業所の中でも事業所が54件あるが、もう少し細かく事業所の中で分類をしたほうがいいのではないか。</p>
委員長	<p>事業所というのは障害福祉サービス等の事業所のことですが、それぞれの事業所の形態ごとにデータを示した方が良いということですか。</p> <p>そこまで細かく分けて計画に反映できるようなデータが出るかという点、アンケートの分析の上ではさほど大きな影響はないとは考えます。</p> <p>このタイプのアンケートは、回答していただいたデータを基に考えていくという方法しかないのでは。</p>
事務局	<p>補足なのですけれども、この案ができた8月の素案段階で、地域支援協議会の各連絡会の中に事業所連絡会があり、市内の障害サービスの事業所は全て入っています。そこにこの素案を全て渡して、意見を聞いて、それを反映したもので作っています。アンケートの段階で、それぞれの事業所が抱えている問題や、それぞれの事業所が思う意見を聞いた上で、計画の素案を作りましたが、できた計画の素案について、再度意見をもらい、反映させた案となっています。</p>
委員長	<p>16ページの合計の記載はどうでしょうか。</p>
事務局	<p>合計数がそれほど重要な意味を持たないのであれば、このままでいいと思いますが。</p>
委員長	<p>重複している人がいる可能性もあるということで、あえてここは合計欄はなしということできたいと思います。</p> <p>概要版は、サイズやページ数は大体どれぐらいになりそうですか。</p>

事務局	A4の8ページで、冊子になるような形です。
委員長	カラー印刷ですか。
事務局	カラー印刷です。
委員長	本日確認いただいた計画を基に、概要版を作成していきますので、私と事務局のほうに一任をしていただきたいと思います。 それでは、(2)加東市障害者計画の内容の評価について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(事務局より加東市障害者基本計画の取組内容の評価について説明)
委員長	何か質問や意見はありますか。
委員	39ページに社会福祉課からの現状と評価が出ていますが、三草小学校、福田小学校とか、各学校との手話、手話 for キッズと書いてありますが、今後も継続されると考えてよろしいか。
事務局	事業の内容自体もそのままです。
委員長	33ページの4番の民間施設のバリアフリー化の促進のところ、集会施設、公衆トイレのバリアフリー化工事について令和5年度未実施ということですが、地元負担の問題が大きく影響しているということですか。
事務局	5年度は特にそういう工事をしたいという要望がなかったからとは思いますが、こちらからも働きかけはしています。
委員長	バリアフリー化されてないような公民館とかもまだあるのですか。
事務局	あると思います。
委員長	まだ未整備ですか。
事務局	建物自体は古いところが多いと思います。
委員	9ページの3番ですが、社会福祉課のところの実施評価について、受け入れゼロ、ゼロ、ゼロとなっていますが、この事業評価はバツが入りませんか。
事務局	受け入れ体制としては、一応していますが、北はりま特別支援学校から実習に来たいという人がいないので。

委員	そういう意味で空欄になっているということですか。
事務局	そうです。
委員	該当なしでしょうか。
事務局	そういうことです。
委員	そうでないと、ミスしているような感じに映ってしまうので。
事務局	ここは該当なしとします。
委員	3年間希望がない事業について、見直す必要はないのですか。
事務局	これに関しては、北はりま特別支援学校で、市役所での実習を希望される方がいなかったということなので、市役所で実習をしたいということであれば、受け入れていくというのは必要だと思います。
委員	内容の1と2は別として考えるのですか。
事務局	別です。
委員	市役所内等においてとなっているので、市役所だけのことではなくて、事業所や企業も含めて挙げるのではないのですか。 市役所や関係機関等の雇用機会の確保というのは、市役所だけで受け入れというのではなく、いろんな機関、関係機関が一体となってやっていくべき事業ではないのか。これは障害者の雇用率として考えるだけでですか。
事務局	「雇用機会の確保に努める」というのは、人事課の障害者雇用率に当たります。社会福祉課は、2番目の「市役所等での特別支援学校生の職場実習を積極的に受け入れる」という実施状況の実績になるので、1番に関しては、人事課が取組内容として実績を出す形になります。
委員長	民間に関しては8ページに実施状況については報告をしてあるので、あくまでも9ページは公共機関での障害者雇用ということになります。 また、受け入れ希望があったときには受け入れないといけないので、体制そのものをなくしてしまうというわけにはいかないもので、これはゼロであっても、残しておく必要はあると判断します。希望があるときは受け入れる体制というのは維持しておく必要性はあると思います。

委員	<p>22ページの実施状況の③ですが、未実施というのがありますが、未実施だけではなく、なぜそうなのかという理由みたいなのがあれば良いと思います。</p>
事務局	<p>事業所へ依頼に行けていないのが現状ですが、介護保険の事業所も人手不足の状況で、障害までは難しいと言われることが多い。</p>
委員長	<p>障害者のヘルパー事業に対して二の足を踏まれるということは、他の地域でも聞いています。人手不足の状況の中では難しいと思います。今後の方向性としては、参入を依頼していくとありますので、ぜひそこはお願いをしたいと思います。</p>
委員	<p>22ページについて、1の訪問系サービスの充実のところですが、該当する事業としては、実施評価は丸でいいと思いますが、ただ1・2・3とその現状の中で分かれていて、未実施の部分については丸ではないはずなので、それが三角なのか、バツなのかここからは読み取れない。つまり、次年度以降も予定はあるのか、もしくはもう打ち切りなのかということがこの表からは読み取れない。その点が理解できないので、書き方としてはどうなのかなと思います。</p>
委員長	<p>実施できているものと未実施のものが含まれ、両方混在している中で、実施評価を1個でつけていますが、実施してないものが含まれているところも丸と書いていいかどうかというのは、確かに微妙なところですね。丸と三角が混在しているという感じです。</p>
事務局	<p>1と2は丸で3は三角にしたほうが良いということですね。</p>
委員長	<p>現状、実施状況のところには複数の項目が入っているところと入っていないところがありますが、複数のものが入っていて、一方はできていて、一方はできてない、未実施なものが含まれているところは、この箇所しかないと思いますので、確かに様式がどうなのかという疑問もありますが、今年に関しては、丸ですが、(③三角) っていうのをそこだけ追加するという形ではいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>現状のところから、この①②③を3分割して、それぞれに評価するという形はいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>それでもいいと思います。 1の訪問系サービスの充実の欄に、取組内容ごとに3つに分かれるということですね。</p>
事務局	<p>内容の欄はひとまとめで、現状(実施状況)から今後の方向性までの欄を3つに分けて、それぞれに実施評価をしていくというのはいかがでしょうか。</p>

委員長	それだといと思いますが、いかがでしょうか。
委員	いいと思います。
委員長	22ページの箇所については、実施評価を分割して書いていくということをお願いします。
委員	12ページ、内容の①ですが、福祉的就労の場というところに内容があって、実施評価はいわゆる翌年度に実施予定でありながら、課題と今後の方向性のところを見たところ、関係機関からの情報提供がなければしないと受け取れますが、すごく消極的なのではないかと。
事務局	昨年も商工観光のところの取組のやり方がすごく消極的なのではないかという意見をいただいていた、そのことも伝えましたし、今回の計画に関しても、もう少し踏み込んだものにしてもらえないかということも伝えたのですが、現状はここまでにとどまっています。
委員長	基本計画の取組内容の評価については、よろしいでしょうか。 それでは、(3)加東市第6期障害福祉計画・第2期障害福祉計画の進捗状況について事務局より説明をお願いします。
事務局	(事務局より加東市第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の進捗状況について説明)
委員長	何か質問や意見はありますか。
委員	4ページの就労計画支援事業の利用者数第6期実績、令和5年度末が1人となっており、7ページの同じく就労定着支援の第6期実績量が令和5年度ゼロになっています。それはゼロでよろしいでしょうか。
事務局	4ページの1名利用の今年度の利用者が1月以降の利用であり、12月末時点ではゼロでした。7ページは12月末の実績を記載しているのでゼロとしていますが、4ページは年度末で見たときの見込みになるので1名で記載しています。
委員長	集計の時期が少しずれているということですね。
事務局	この資料に関しては、現時点の見込みで、次回は令和5年度の最終実績を報告する予定です。
委員	1ページのところで手帳の所有者の人数ですが、(2)と(3)で重複する部分もあるのでしょうか。

事務局	あります。
委員	障害が重い人が市の実態としてこれだけありますというのが見えてくるかと思うのですが。
事務局	身体 of 療育と精神の重複の所持者数のデータを出すことは難しくないです。
委員長	重複の方を出したときに、作業的にできるのはできるようですが、出して何を見るのかということだと思います。例えば、身体の手帳を持っていて、いろいろ制度を受けているから療育手帳を取ってないとか。そういう人たちも結構いたりするので。
委員	実態とは異なるということですか。
委員長	実際に重複障害を持っている方たちをその手帳の重複で見られるかということ、必ずしもそうではありません。
委員	意味がないということですか。
委員長	そこまで必要ではないのかなど。
事務局	重複が何人というよりも、手帳を持っている人が実際何人というのかということは、年に1回、福祉年金を支給していますので、人数は出せると思います。 計画の6ページに、今までの手帳所持者の実人数が載っており、一番上の1の(1)の①のところで、例えば令和4年度でしたら1,937人というのが実際の重複を除いた人数、手帳を所持している実人数となります。下のほうに令和4年度2,020人となっていますが、この2,020と1,937の差83が重複ということになります。
委員	これが重複ですか。
事務局	それが重複分ということに当たります。
事務局	ただ中には3つ手帳を持っている方もいるので、この実際の2,020引く1,937の83人よりも少ない人数にはなると思います。 計画でも同じように出しておりますので、手帳所持者総数みたいな何かの形で入れることを考えさせてもらいましょうか。
委員長	その対応をお願いします。



委員長	<p>手話奉仕員の養成研修事業や、手話通訳者の関係のものが割と多いという印象を持ちますので、手話言語条例を制定して、加東市は力を入れた結果、伸びていると感じました。</p> <p>グループホームや、幾つか事業所が新しくできたという動きもあるようなので、大きく変わるわけではないですが、前に比べるといろいろな事業所もできて、サービスの供給量も増えてきているという印象は持っています。</p> <p>議事についてはここで終了としますので、進行を事務局にお返しいたします。</p>
4 その他	
事務局	(事務局より新規事業等について説明)
委員	<p>失語症というか、聴力障害者の方に神戸市でしたか、こんなカードを持たして、指でさしたら買物袋が要るとか、温めてほしいというような意思表示できるようなカード、それがスマホにも入るようになっていますが、加東市はそんなのあるのでしょうか。</p>
事務局	あります。
委員	それは社会福祉課に行けば頂けるようなものですか。
事務局	以前市内のコンビニにも配布をしました。
委員	<p>北はりま成年後見支援事業について、ここでは北播磨と言いながら、加西市、多可町との共同なのですが、小野市、三木市に関しては、これに加わらなかったのか、それとも独自なのか。</p>
事務局	<p>三木市は独自で、小野と西脇はこれからです。小野市は小野市単独で実施するという方針を早くから出されていて、西脇市は最初一緒にやっていく方向で話していたのですが、西脇市単独で実施するということになりました。</p>
5 閉会	

令和 6年4月8日

署名人 石倉健二

